

研究実施のお知らせ

研究課題名：剖検摘出心臓内に認められた異物に関する解析・検討

研究期間：令和元年 仙台市立病院倫理委員会承認後～令和4年3月31日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存試料・情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

平成28年2月～令和元年5月に当院で死体解剖（剖検）が施行された方のうち、心臓内に異物が確認された方

【研究の目的と意義】

質量分析法を用いて、剖検摘出心臓内に認められた異物の解析を行う。近年、心筋内に心臓カテーテルやガイドワイヤーのコーティング剤が認められたという症例が少数報告されているものの、異物の特定に至った報告は限られている。本研究により同定された異物が医療機器に関連するものであった場合、死因との関連など今後の詳細な検討を要するものと考えられる。また、一般臨床における周知状況はほぼ皆無であることから、関連学会での発表を通して各科医師への啓蒙を要するものと考えられる。

【研究の方法】

剖検時に摘出され、10%中性緩衝ホルマリン液内に固定されている心臓、もしくはパラフィン包埋ブロックされた検体のいずれかを用いる予定である。検体内に含まれる異物を抽出した後、東北医科薬科大学薬学部 臨床分析化学教室で所有している質量解析装置で解析する。解析から得られたデータと、心臓カテーテル検査時に使用された機器に用いられている物質との対比を行い検証する。

【研究に用いる試料・情報の種類】

摘出心組織の他、診療録に記録された診療情報（入院までの経過、血液検査データ等）を研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

この研究は、多施設共同研究として、以下の共同研究機関で実施されます。

研究代表者：

東北医科薬科大学病院 病理学講座 村上 圭吾

研究参加施設

仙台市立病院 病理診断科 渋谷 里絵

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しな

いようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 病理診断科
科部長 渋谷 里絵（当院の研究責任者）
仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号
電話：022-308-7111（代表）